



## WBC世界ライトフライ級タイトルマッチ 卒業生の拳四朗さんが 世界王座獲得！

プロボクシングのWBC世界ライトフライ級タイトルマッチが5月20日、東京都・有明コロシアムで行われ、関西大学卒業生の拳四朗さん(B.M.B所属)が、王者のガニガン・ロベス選手(メキシコ)を見事、2-0の判定で下し王座に輝いた。拳四朗さんは今回が世界初挑戦。

試合では、正確な左ジャブと右ストレートのカウンターで序盤からポイントを重ねたが、チャンピオンも老練なテクニックで応酬。最終ラウンドに強烈なボディブローをチャンピオンに見舞ったところで、終了のゴング。試合は判定までもつれたが、新チャンピオン誕生がアナウンスされると場内は歓喜に包まれた。卒業生が世界王者の座に就いたのは大学創立以来初の快挙。世界戦の前に語った「絶



対勝って関大に世界のベルトを持ち帰ってきます！」の言葉通り、僅差ながら執念での世界タイトル獲得となった。

### 拳四朗(けん・しろう)

1992年京都府生まれ。本名 寺地拳四朗(てらじ・けんしろう)。2014年関西大学人間健康学部卒業。在学中は体育会ボクシング部に所属し、第68回国民体育大会成年男子ライトフライ級優勝など活躍し、14年3月プロテストに合格。同年8月のプロデビュー以来、無傷の10連勝を収め、世界タイトルを獲得。元プロボクサーの父・寺地永氏は、日本・東洋太平洋の元王者。

## 関西大学学術リポジトリをリニューアル公開

関西大学やその構成員による教育・研究成果物を電子的に保存し、インターネットを通じて無償公開するシステム「関西大学学術リポジトリ」が、4月26日にリニューアルされた。

関西大学では、2008年に当システムを立ち上げて以来、学術雑誌掲載論文や学位論文、紀要論文などの研究成果を積極的に学外へ発信している。この度のリニューアルでは、月ごとの本文閲覧数の多い上位コンテンツを表示する機能や、表紙画像・巻号一覧での検索機能が設けられるなど、見やすさや操作性が向上し、より利便性が高まった。本学で生産された学術情報発信のプラットフォームとして広く活用されるものと期待される。

## 千里山キャンパス第4学舎1号館の増築棟が竣工



千里山キャンパスにある第4学舎1号館の増築工事が無事完了し、3月10日、そのお披露目と完成を祝した竣工式が執り行われた。第4学舎は理工系学部・研究科の学生の学び舎。



新しい増築棟は、学生のスパイラルアップ学習環境の構築をコンセプトにした鉄筋コンクリート4階建てで、延床面積は1,341.75㎡。1階には「授業支援ステーション」「学習支援室・協同学習室」、2階には「ラーニングコモンズ」、3・4階には「ゼミナール室」と「院生共同自主研究室」が設置され、学部生・大学院生の学修深化や技術者・研究者としての基盤を育むスペースとして期待が寄せられる。

## 関西大学博物館 2017年度春季企画展を開催

「河内国府遺跡発掘100周年—近畿地方先史時代考古学のはじまり—」

4月1日から5月21日まで、関西大学博物館特別展示室で、春季企画展「河内国府遺跡発掘100周年—近畿地方先史時代考古学のはじまり—」が開催された。関西大学博物館には、大阪毎日新聞社元社長の本山彦一氏が収集した本山コレクションがあり、藤井寺市にある河内国府遺跡で発掘された重要文化財の埴輪や縄文土器、弥生土器、石器、銅鏃などが含まれている。河内国府遺跡の発掘は、1917年から京都帝国大学考古学研究室の浜田耕作教授や本山氏などにより行われ、今年は発掘から100周年となる節目の年。博物館収蔵の資料を核に、京都大学や大阪府教育委員会、道明寺天満宮などから関連資料を集めての企画展示となった。

